

いごろ

防災備蓄品のサイクル化が承認されました！

かねてより「防災備蓄品購入の原則を明確にしたい」「自助で補充すべき備蓄品が明確になるようにしたい」との要望がありました。備蓄品に関する原則とローリングストックについて、案が、九月十三日に開催された第五回班長会で承認されましたので報告いたします。



- ① 会員に配布することを目的として備蓄
 - ② 一世帯につき、水二リットル、ペットボトル六本、アルファ米八食
 - ③ 一サイクル五年、賞味期限前に適切に処理
 - ④ ③で処理した分を毎年補充（災害の際に②を実施できるように、その年度の会員世帯数を考慮して補充）
 - ⑤ ②を参考にして、各世帯でその他必要品を備蓄
- 本年度初めて実施した「備蓄品の水の一次配布」は、概ね好意的に受け入れられました。と判断しております。今後の期切れに際しては、関係者の異論が、



2020 第6号

地縁法人安食台 1・5・6 丁目自治会 令和2年 10月11日発行

数件あったことは事実です。今後の戒めとしていくべきでしょう。また、今後の会員数の大きな変動、私達を取り巻く情勢や環境の変化等に応じて、上記を改定していく必要に迫られると思われまします。さらに、最も危惧されることは、今後ますます高齢化が進行する中で、果たして一斉配布が出来るのだろうかという事です。そのときに考えてもらえばいいことですが、

敬老の日お祝いた記念品を贈呈しました！

九月二十日と二十一日の両日に亘り、本年度の対象者六十八名に、紅白饅頭と商品券を贈呈いたしました。自己申告制である点、該当年の本調査で申告を忘れると贈呈対象者にならない点にご注意をお願いいたします。



「国勢調査オンライン回答」のお手伝いを行いました！

九月二十七日から十月三日（十時から十三時）まで実施。五年前も十名弱で、今年も同様の結果でした。

今後の日程等
11月8日 第7回班長会
※新年度執行役員候補選出の
手順・日程等が決定しました
のでお知らせします
今回は公募、調整、現班長より選出、という流れになります
公募・調整での積極的な意思表示をお願いします
(回覧等を参照)

十月一日現在の会員世帯数は、四百七十八です。本年度のスタート時点では四百八十三でした。（退会世帯七、新規入会世帯は二、退会のうち転居理由は三、介護は一）高齢化の進行は、予想していたよりも厳しい状況と言わざるを得ません。

今後の行事実施の可否が決議されました！
「おもちゃ豚汁会」と「クリスマス会」、「いごろ祭り」は、様々な団体や組織の対処、密を避けること、食べ物を扱うこと等を考慮して、本年度は実施しないことが、第六回班長会で決議されました。
「卒業入学を祝う会」については、昨年度の例（記念品のみ配布）、コロナ関連状況等も踏まえて班長会に提案されるでしょう。
実施となった場合の該当者申請を期限内にお願いします。



新規入会者の紹介
二十五班 山本様
私達は大歓迎です！

次は、ある職場における二人の社員の話です。
A 「新型コロナウイルス感染者数は、明らかに減少している」とは言えませんがね。」
B 「世界の状況をめめあたりにすると、そうだよ。」
A 「感染防止のために、帽子をめぐぶかにかぶるのには、効果がああるんですかね？」
B 「目から入るのを少しは防止出来ると思うよ。」
感染に対する不安感や世界の現状等から、誤った読み方をしていいるのではないのでしょうか？
まさに、厳しい現実を「目の当たり（まのあたり）」にして「また、（まのあたり）」ではなく「まぶか」で、漢字では「目深」と書きまします。多くの方がその読み方をするようになれば、それは致し方ないことでしょうか。
「手折る（たおる）」、「手綱（たづな）」、「手向ける（たむける）」等の情緒ある表現、味わいのあなる読み方もなくなってしまうのか。寂しさを感じますか？

